

# シングルユース鼻咽喉鏡で 業務負荷の軽減を期待



Ambu® aScope™ 4 ライノラリノゴ

**Ambu**



デンマーク耳鼻咽喉科・頭頸部外科学会(DSOHH)年次総会で発表された研究で、耳鼻咽喉科(ENT)レジデントが救急外来において診療を行うにあたり、aScope™ 4 ライノラリノによって業務負荷が有意に軽減されることが明らかにされました。

## 背景

aScope 4 ライノラリノはシングルユースの軟性鼻咽鏡で、ポータブルな併用モニタに上気道検査の画像を表示できるように開発されました。本鼻咽鏡は、シングルユースであり、かつ容易に持ち運べるという特長によって、どのような場面でもセットアップできるため、特に診療手技に適しています。

本研究の目的は、シングルユース鼻咽鏡の導入が救急外来の耳鼻咽喉科診療の業務負荷に与える影響を調査することでした。

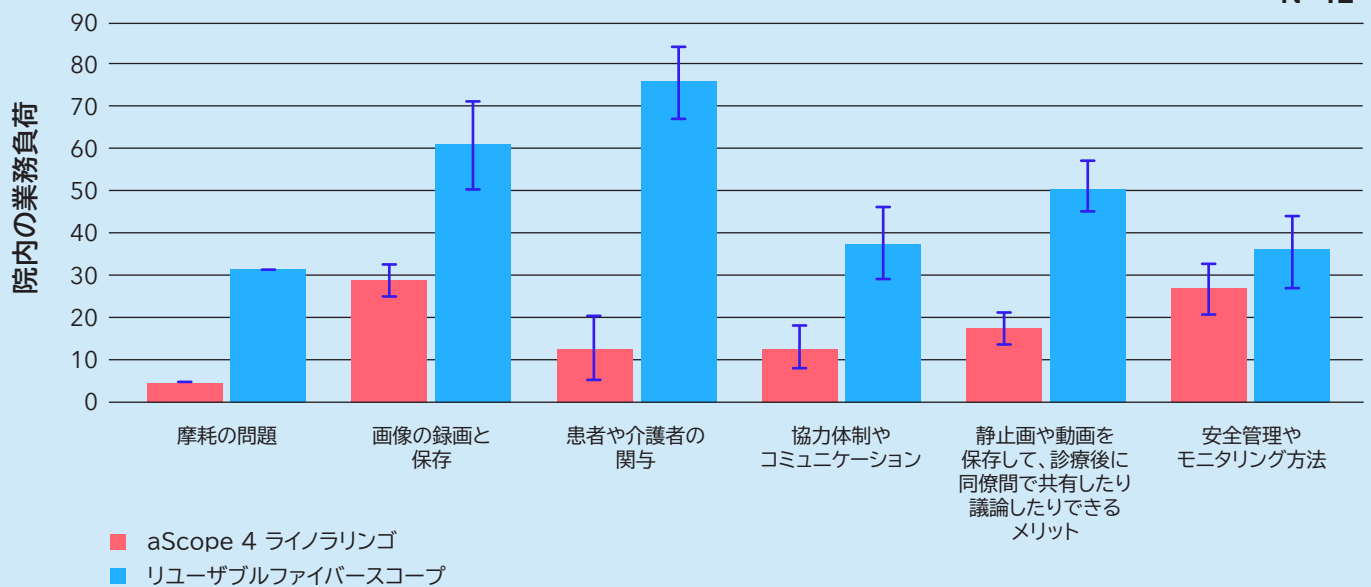
## 方法

aScope 4 ライノラリノの導入が業務負荷へ与える影響を調査するための本研究は、Rousselらが2016年に決定し、Châteauvieuxらが2018年にシングルユースの気管支鏡に対して有効性を確認した調査項目を含んでいます。本研究の調査項目および質問事項は、救急外来で耳鼻咽喉科診療を行う現地の医師によって、さらにその有効性が確認されました。回答者には、各質問に対して「負荷がない」場合は「0」、「この上もなく大きな負荷がある」場合は「100」の点数を付けるように依頼し、質問の順序は無作為に決定しました。

下図は有意的差があった、業務負荷へ影響を与える調査項目です。

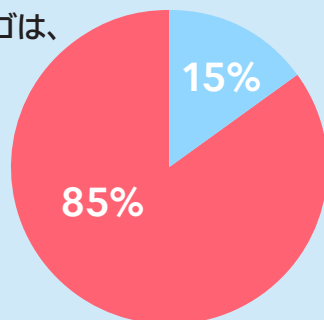
救急外来の耳鼻咽喉科診療へのaScope 4 ライノラリノの導入が業務負荷へ与える影響

N=12



aScope 4 ライノラリノは、救急外来での診療に有効ですか？

- はい
- いいえ



## 考察

aScope 4 ライノラリノは、静止画や動画の保存や共有ができないリユーザブルのファイバースコープと比べ、救急外来における耳鼻咽喉科診療の業務負荷を軽減することが明らかにされました。また、摩耗の問題が軽減すると同時に、診療科内や診療科間の協体制やコミュニケーションも改善されています。その結果、レジデントの85%が、aScope 4 ライノラリノは救急外来における耳鼻咽喉科診療に適していると認めました。

【製品に関するお問い合わせ先】  
アンブ株式会社  
電話番号: 03-6222-8723(代)  
[www.ambu.co.jp](http://www.ambu.co.jp)



より詳しく  
[ambu.co.jp/内視鏡検査/耳鼻咽喉科](http://ambu.co.jp/内視鏡検査/耳鼻咽喉科)

**Ambu**